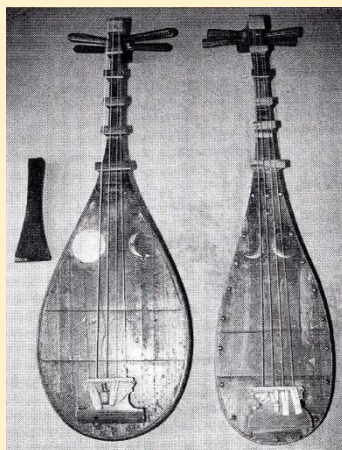


盲僧（琵琶法師）の語り物伝承をめぐって ——語りと正本（文字テキスト）の問題に関連して——

講師：兵藤裕己氏（学習院大学名誉教授）



講演概要：20 世紀まで九州地方に残存した盲僧（琵琶法師）の語り物伝承について、兵藤氏が収録した演奏映像を上映しながら紹介していただきます。また、盲人の伝承と文字テキストの関係は、『平家物語』以下の物語の成立と関わり、かつてレヴィ＝ストロースが目撃した「文字」の権力性とも関わる重要な問題です。（参考：兵藤裕己『琵琶法師』、岩波新書、第 4 章「権力のなかの芸能民」）

講師紹介：兵藤裕己（ひょうどう・ひろみ） 1950 年生まれ。京都大学文学部卒業。東京大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。埼玉大学、成城大学、学習院大学を経て、現在同大学名誉教授。専攻は、日本中世文学・芸能論。狭義の文学研究に留まらず、〈言葉〉と〈身体〉とが切り結ぶさまざまな事象を対象とする。斬新な視点と綿密な考証を基づいたその研究の射程は、中世から近代まで幅広い。主な著書に『語り物序説——「平家」語りの発生と表現』（有精堂出版、1985 年）、『王権と物語』（青弓社、1989 年）、『太平記〈読み〉の可能性』（講談社メチエ、1995 年、サントリー学芸賞受賞）、『平家物語の歴史と芸能』（吉川弘文館、2000 年）、『演じられた近代——〈国民〉の身体とパフォーマンス』（岩波書店、2005 年）、『琵琶法師——「異界」を語る人びと』（岩波新書、2009 年）、『後醍醐天皇』（岩波新書、2018 年）、『物語の近代——王朝から帝国へ』（岩波書店、2020 年）などのほか、校注に『太平記』全 6 冊（岩波文庫、2014 年）がある。

日時：11 月 1 日（火）16 時～17 時 30 分 入場：15 時 30 分～

会場：専修大学生田キャンパス 2 号館 Active Studio 202（対面）

主催：専修大学人文科学研究所 2022 年度共同研究「日本中世の霊場についての文化・思想史的研究」（代表：文学部伊藤博明）
共催：科学研究費補助金基盤研究（A）「第三世代としての編集——古典の再生と文学研究の活性化をめざす編集文献学的研究」（代表：明星聖子成城大学文学部教授）